

化粧品受託製造産業欄

リップ美容液処方

ジャパンビューティプロダクツ
唇変化の実測データ提示

ジャパンビューティプロダクツ(東京都中央区)は、

唇の「血色感」と「シワ」の変化を数値と画像で示した。結果を示せる「リップ美容液処方」の提案を進めている。分光測色計、Antera 3D、PRIMO SCRの三つの評価機器を用い、即時効果から連用による変化まで多角的に検証した点が特長だ。

評価では、塗布1時間後の即時的な血色変化に着目。分光測色計による測定で、被験者19名中13名において赤みを示すa*値の上昇を確認した。さらに20日間の連用試験では、a*値

が14名中13名で上昇、ヘモグロビン量の指標となるHb Indexも14名中12名で上昇するなど、血色感の向上傾向が数値として示された。

シワについては、PRIMO SCRを用いて評価を実施。29日間連用後、シワ解析5項目すべてで低下傾向が見られ、全被験者において、いずれかの項目で改善が確認されたという。

加えて、社内モニターによる評価では翌朝まで続く保湿感も確認しており、血色・シワ・保湿の各要素を支える5種の成分を厳選配合した処方設計としてい

る。

なお、これらの検証結果は、商品企画や処方提案時の参考資料としての活用を想定した内容となっている。血色×シワの実測データの詳細は、同社ホームページで公開されている。

同社は今回の検証について、感覚的な訴求にとどまらず、企画・提案段階で説得力を高めるための「実測データ」を提示できる点に意義があるとしており、ブランドの差別化や商品開発提案に活用できるリップ美容液処方として展開していく考えだ。